

LIM

TODAY'S TOPIC

朝顔



夏をイメージする花と言えば、ひまわりかこの朝顔を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

子どもたちの夏休みの宿題として、朝顔の成長日記をつけたり、つる植物の特徴を利用して日よけとして活用したりと私たちの生活にも身近な植物です。



朝顔は元々、熱帯アジアやヒマラヤの山麓地域が原産とされており、日本には奈良時代に持ち込まれたとされています。

江戸時代には爆発的な朝顔ブームが2度起き、品種改良が進んだことにより八重咲きなどの「変化朝顔」が生まれ、観葉植物としての地位を確立しました。

最近では、研究機関や種苗会社、競技用花を育てる個人の交配による新品種が誕生しています。

7~8月 朝顔のイベント

- 超大輪朝顔展 7月28日(木)~8月3日(水)
日比谷公園(東京都千代田区) ※販売なし

東京朝顔研究会の会員が育てた、およそ1,000鉢の朝顔が展示されます。

- 第40回奉納あさがお展 7月28日(木)~8月4日(木)
靖国神社(東京都千代田区) ※販売なし

東京あさがお会による大輪の朝顔およそ500鉢の展示。期間中は最終日を除き午前9時から1時間程度、押し花教室が行われます。

- 入谷朝顔まつり 7月6日(水)~7月8日(金)
言問通り(東京都台東区 入谷鬼子母神周辺地域)

歩行者天国となった言問通りに120の朝顔業者と100の露店が並び、毎年およそ40万人の人出で賑わいます。

